

公民館成人部バス視察研修

鳥取県立美術館と倉吉白壁土蔵群まちあるき

今年度の成人部バス視察研修は、鳥取県倉吉市に3月にオープンしたばかりの鳥取県立美術館でのコレクション展の鑑賞と倉吉白壁土蔵群のまちあるき(1時間・約1km程度)に出かけます。皆様のお申し込みをお待ちしています。

日時 令和7年7月2日(水) 8:20(公民館集合)～16:00[雨天決行]

行き先 鳥取県立美術館、倉吉白壁土蔵群(いずれも鳥取県倉吉市)

定員 40名程度 ※大型バス1台での運行(実施)

参加費 おひとり3,000円(昼食代・入館料・バス代等として) ※当日集金

申込み ・窓口…6月16日(月)と17日(火)の9時～17時、備え付けの申込用紙に記入してください。

・FAXまたはメール…6月17日(火)の17:00までに、①氏名(ふりがな) ②住所 ③年齢 ④携帯電話番号を記入し、FAX[31-8510]、メール[kawatuk@mable.ne.jp]へ送信してください。

・スマホ、パソコン…6/17(火)の17:00までに、専用申込フォームへ必要事項を入力して送信してください。
URL [<http://www.mable.ne.jp/~kawatuk-3/apply/2507-kurayoshi.html>]

・電話での受付はいたしません。

・申込みは一人1回、川津地区在住の方限定です。

・1回の申込(書)で2名まで申込みいただけます。

・定員を超えた場合は、申込(書)単位で抽選します。

・申込された方へは6/23(月)頃までに結果を郵送にて通知します。

なお、当選された方には日程等の詳細を同封いたしますのでご一読ください。

※2名でお申込みをされた方へは、代表の方に通知します。



その他 ・当選された方は、今年度2回目の視察研修(行き先未定)にご参加いただけない場合があります。



広域避難計画に基づく避難先自治体視察研修会

[地区自治連合会・自主防災委員会、市原子力安全対策課]

松江市原子力災害広域避難計画に従って、川津地区の避難先自治体である岡山市への視察研修会を開催します。

実際に避難ルートや避難経路所等を確認し、いざという時に備えると共に防災意識をより一層高めましょう。

日時 6月28日(土)8:30 出発～17:45 帰着

※川津公民館集合 8:20

内容 (予定) ・大型バスで実際の避難ルートに沿って移動し、避難先自治体までの経路を確認。
・避難経路所[御津スポーツパーク、岡山桃太郎空港、岡山サウスヴィレッジ]を視察。
・車内より避難所候補施設を確認。(避難候補施設は公立学校のため今回視察はできません)

定員 35名(先着順・定員になり次第締め切ります)

参加費 無料

申込み 6月10日(火)までに公民館へお知らせください。

その他 ・当日お車でお越しの方は、公民館向かい側の国際交流広場駐車場(テニスコート横)をご利用ください。

6月の図書コーナーボランティア対応日

6月 4日, 11日, 18日, 25日(水) いずれも
6日, 13日, 20日, 27日(金) 10:00～12:00

◎貸出は…一人3冊まで・1週間以内・要手続き

☆上記の対応時間外(9～17時まで)の利用や貸出もできます。
(利用・貸出の手続きは公民館の窓口で受け付けています。)

「かわつ防災LINE」登録のご案内

川津地区自治連合会・自主防災委員会では、地区の皆様へ災害時等の緊急連絡をはじめとした様々な情報の伝達・共有を目的に、通信アプリ「LINE」を活用した「かわつ防災LINE」を導入しています。

川津地区の方はどなたでもご登録いただけますので、ぜひご登録いただき、ご活用ください。(登録は1世帯につき1名とさせていただきます)

○登録手順:

- ①二次元コードを読み取り、[新しいプロフィールで参加]をタップし、「利用規約とポリシー」に[同意]をタップ。
- ②ニックネーム(町内会自治会名とお名前を入力してください)を設定し、上部の[参加]をタップ。



○その他:

- ・ご活用いただく際のお願い事項等、詳細については回覧チラシに記載しておりますのでご確認いただきますようお願いいたします。(公民館窓口にもチラシを設置しています)
- ・R6年度に登録された方は新たな登録の必要ありません。

朝酌川河川敷 フラワープロジェクト より

この冬のエサ不足でオオバンにほとんど食べられてしまったムギナデシコですが、それでも頑張って咲いてくれました。

河川敷いっぱいコスモスの咲く様子を楽しみにして作業を続けていきましょう。

次回は 6月21日(土) 8:00～9:30

○予備日は22日(日)

悪天候等の際は延期・中止とします。不確かな場合は当日現地にて確認願います。

各講座への参加申込み・お問い合わせは平日の9:00～17:00の間にお電話等(TEL21-2349・Fax31-8510)でお願いいたします。

第2回 6月のかわつつ子は 「ぼてぼて茶体験」

日時 6月18日(水) 10:00~11:30
内容 ぼてぼて茶体験、茶話会 など
持ち物 飲み物など各自必要なもの
出欠 欠席の方は公民館までお知らせください

☆第3回 7月は「七夕まつり」です！

かわつつ子は随時入会受け付け中！

☆お子さん一人につき500円が必要
…初回参加時のみ

入会希望の方は、公民館窓口にある
申込書に必要事項を記入して窓口まで。

専用フォームからも申込できます。

<http://www.mable.ne.jp/~kawatuk-3/apply/r7-kawatukko.html>



菅田会館貸館交流事業

あさ食・あさ学 子どもの会

日時 6月14日(土)8:30~11:30

場所 菅田会館(菅田町21-2) 1階和室

対象 小学生・中学生・高校生

参加費 100円(保険代を含む)

申込先 菅田会館(☎26-1964)

※アレルギーのある方は知らせてください。

川津子育てサロン・ほっとぱる

日時 6月11日(水)・25日(水)10:00~11:30

会場 川津公民館 3階 音楽室

◎申し込みはいりません。お気軽にいつでもどうぞ。

主催：川津子育て支援ボランティア・ほっとぱる

長寿体操

都合により今年度の開催は中止といたします。

話は変わるが「みちよば」や「ゆうちゃみ」。最初耳にした時、外国の食べ物か何かかと思っただが、売れっ子の女性タレントの名前である。その先駆けは「きやりーばみゆばみゆ」であろう。いずれも意味不明で、ただただ唾然とする。これを今風と言うなら、時代は俺を置き去りにしていったのだろうか。

そんなことを考えていると、奥方が「歌詞が聞き取れないのは、歌い方の問題じゃないの。耳とともにあなたの感性が老化したからよ」と。男が「馬鹿を言うな！俺の感性は今でもみずみずしいぞ」と抵抗すると「そう言ってる言い張るのが老化の証拠！」男はすかさず反撃する。「そう言うお前は、あの歌詞が解るのか？」「……」奥方は言葉も失った。この勝負なんとか引き分けに持ち込んだ。

「みんなの食堂」 川津地区社協

日時 6月29日(日) 10:00~13:00
会場 川津公民館 イベントホールにて

地域のみなさんへ～無理のない範囲でご協力をお願いします～

- ①当日の調理や子どもたちの学習・遊び支援
→公民館までご連絡ください。
- ②食材の提供
→6月25日(水)・26日(木)に公民館までお持ちください。
- ③資金の提供
→公民館までお持ちください。(領収書を発行いたします。)

集団がん検診のお知らせ

川津公民館でがん検診があります。

是非この機会に、検診を受けましょう！

詳細については、市報松江6月号と一緒に配布される「R7年度版 けんしんのお知らせ」をご覧ください。

検診日時	検診内容	備考
6月26日(木) 9:00~10:30	肺がん 大腸がん	・予約不要 ・大腸がん検診容器回収日時 6月30日(月)10:00~10:30

問い合わせ先：松江市健康推進課 ☎60-8174



～法務局 大事な遺言書 預かります

自筆証書遺言書保管制度～

ご自身で書いた遺言書を法務局で保管する制度です。大切な遺言書の紛失や改ざんを防止できますので、ご自身の財産をご家族へ確実に託す方法の一つとして自筆証書遺言を検討されるに当たって、ぜひ本制度をご利用ください。遺言者が希望すれば、遺言者の死後、あらかじめ遺言者が指定した方に対して、遺言書を預かっていることをお知らせすることもできます。

また、相続人の方などは全国にある法務局の遺言書保管所で、遺言書情報証明書の請求や、遺言書の閲覧をすることができます。詳しくは松江地方法務局ホームページでご確認又は次の連絡先までお問い合わせください。



松江地方法務局
ホームページ

問合せ先

松江地方法務局供託課 TEL 0852-32-4240(直通)



遺言書ほかんガルー

連載 館長日記(90) さっぱり わからん?

朝食を終えた男は、テレビの前に座ってそう呟いた。ちょうど朝ドラ「あんぱん」の主題歌が流れている。テンポのいいポップな曲なのだが、早口でたたきつけるような歌い方なので、歌詞の内容が全く聞き取れない。何を言っているのかさっぱり解らないのだ。何とか歌詞を聞き取ろうと毎朝頑張ってみるが、結局無理だと諦めた。

朝ドラは前作の「おむすび」から「あんぱん」に。ちょうどコメ不足と重なったため、それに引っ掛けて茶化す向きもあるが、前作に比べかなり見応えがある。それだけに主題歌が聞き取れないのは、いかにも残念な気がする。昭和の頃も感情をストレートにぶつけるような激しい歌はあったが、歌詞が聞き取れないことはなかった。歌で何かを伝えるなら、もっと言葉を大事にして欲しいと思う。

～公民館よりお願い～

川津公民館が主催または共催する事業や活動時に撮影した写真を広報誌・ホームページ等で使用させていただく場合があります。あらかじめご了承くださいませよう、よろしく願いいたします。

川津公民館ホームページは

こちらから

☆活動のお知らせや報告など

随時更新しています。

